

青山高原ウインドファーム風力発電増設事業
に係る環境影響評価事後調査報告書

令和4年 4月

株式会社青山高原ウインドファーム

はじめに

本報告書は、「青山高原ウインドファーム風力発電増設事業」を実施するにあたり、「青山高原ウインドファーム風力発電増設事業に係る環境影響評価書」（平成 23 年 2 月 株式会社青山高原ウインドファーム）（以下、「評価書」という。）に記載した「事後調査計画」に基づき、供用後に行うとしたバードストライク・バットストライク調査について、令和 3 年度（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）の調査結果を記載したものです。

目 次

第1章 事業の概況.....	1
1 事業者の氏名及び住所.....	1
2 事業規模.....	1
3 対象事業の進捗状況.....	1
4 調査工程.....	1
第2章 調査結果.....	2
1 バードストライク・バットストライク調査.....	2
1-1 調査概要.....	2
1-2 調査結果.....	2

第1章 事業の概況

1 事業者の氏名及び住所

名 称	株式会社青山高原ウインドファーム
住 所	三重県津市大倉 12 番 19 号
代表者の氏名	代表取締役社長 吉田 篤哉

2 事業規模

○事業敷地面積	約 52.5ha
○風力発電所出力	80,000kW (2,000kW×40 基)
○風力発電機の台数	40 基 (伊賀市側 : 32 基、津市側 : 8 基)
○送電線の新設	架空 : 77kV、約 5.7km (うち、一部地中線 1.7km)
○鉄塔の基数	21 基
○変電所及び開閉所の新設	変電所 2 ヶ所、開閉所 1 ヶ所

3 対象事業の進捗状況

平成 25 年 2 月 4 日、事業に着手し、風力発電機 40 基のうち 18 基については、平成 28 年 3 月から営業運転開始、平成 29 年 2 月に残り 22 基が営業運転を開始しました。

4 調査工程

調査は令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月に実施しました。

第2章 調査結果

1 バードストライク・バットストライク調査

1-1 調査概要

平成27年12月より、風力発電施設で連続運転を順次開始したことを受け、バードストライク調査及びバットストライク調査を実施しています。

調査にあたっては、事前にマニュアルを作成して実施しました。

1-2 調査結果

バードストライク・バットストライク調査および風力発電機点検時等においても現地を確認しておりますが、表2-1-1に示すとおり、令和3年5月に1個体（ヤマドリ：1個体）、7月に2個体（カケス：1個体、キジ：1個体）、8月に1個体（アオバト：1個体）、9月に1個体（トラツグミ：1個体）10月に1個体（ヤマガラ：1個体）、12月に1個体（ノスリ：1個体）、令和4年2月に1個体（アオバト：1個体）の死骸が確認されました。

確認された8個体については、死骸や発見状況から風車ブレード・タワー等に衝突した可能性も考えられますが、死因までは特定できておりません。

表2-1-1 風車周辺の鳥類等確認結果（令和3年度）

通し番号	発見日時	発見場所 (風車番号)	種名	発見動機	確認状況
1	5/25 14:55	AI-8	ヤマドリ	バードストライク調査	風車基部付近西南西側 外傷なし
2	7/12 9:10	AI-15	カケス	風力発電機点検	風車基部直下南側 外傷なし
3	7/12 16:10	AT-6	キジ	風力発電機点検	風車基部直下 骨、羽根のみ
4	8/23 13:56	AI-32	アオバト	バードストライク調査	風車基部より北側約13m 羽根のみ
5	9/15 8:30	AI-20	トラツグミ	管理棟出勤時	風車基部直下西南西側約54m 頭部、胴体、片足 分離
6	10/15 16:00	AT-7	ヤマガラ	月次点検	風車基部付近東側 少量の羽根のみ
7	12/8 17:11	AI-22	ノスリ	土木巡視	風車基部より東側約43m 胸部外傷あり
8	2/21 13:30	AI-5	アオバト	バードストライク調査	風車基部より南東側約18m 片翼